

いつ みんな

『逸民』と『ハシツシ・ギヤング』

～小川文学の聖地を歩く～




こいつはこいつで自分の満ち足りた生も
生きている。ちよっかいたんか出た、
出せた、いんた、と考へた。

2021 4/8  2021 5/23 

★ 同時開催 博物館企画展
子どもたちの昭和展
～昭和の遊びの世界へタイムトリップ!～
★

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子 500 (蓮華寺池公園内) 藤枝市郷土博物館・文学館 
TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514 Eメール muse@city.fujieda.shizuoka.jp

休館日：月曜日(5/3は開館)、5/6
開館時間：9：00—17：00
入館料：大人(一般)200円、(団体20名以上)160円
中学生以下無料
障害者手帳等をご提示の方は無料

—— 小川文学の聖地

蓮華寺池と岡出山

小川国夫は、藤枝市の長楽寺(現藤枝市本町)に居を構え「枝っ子作家」として藤枝市を舞台にした多くの作品を生み出しました。昭和61年(1986)には蓮華寺池を散歩中に会った人との交流を描いた「逸民」で第13回川端康成文学賞を受賞しました。また、平成11年(1999)には岡出山で幻覚を見た青年が主人公となった「ハシッシ・ギャング」で第50回読売文学賞小説賞を受賞しました。

小川にとって、自宅の近くである蓮華寺池公園や岡出山は日課の散歩コースでした。小川は散歩中に小説の構想を練ることが多く、多くの名作が散歩の中で生まれました。本展では小川文学の2つの聖地を舞台にした作品「逸民」と「ハシッシ・ギャング」を紹介し、小川国夫と故郷・藤枝のつながりを探ります。

また、昭和39年(1964)に開催された東京オリンピックで、小川がフェンシングのフランス語通訳を務めた経験やオリンピック選手を題材にした「河口の南」など、小川とオリンピックの関係資料も併せて展示します。

2021年は「逸民」の川端康成文学賞受賞から35年のメモリアルイヤーです。この節目の年に数々の名作を生み出した小川の“散歩”を追体験していただき、藤枝と小川国夫の文学に親しむ機会になれば幸いです。

小川国夫(1927-2008)

静岡県藤枝市生まれ。

自らを「枝っ子」と称して、藤枝市で生涯執筆活動を続けた。

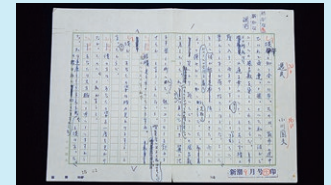
「内向の世代」を代表する作家と呼ばれ、昭和61年に第13回川端康成文学賞、平成6年に伊藤整文学賞、平成11年に読売文学賞小説賞、平成12年に日本芸術院賞を受賞。平成17年には、国の荣誉機関である日本芸術院の会員となった。代表作に「逸民」「悲しみの港」「ハシッシ・ギャング」などがある。

「逸民」

小説家・柚木浩が散歩の途中に出会った人々との交流を描いた作品。蓮華寺池の鷺鳥の死をめぐる人間と自然の在り方を簡潔な文章で表している。



川端康成文学賞賞状



『逸民』自筆原稿

「ハシッシ・ギャング」

「ハシッシ」(薬物)をした青年が幻覚に従って愛する女性を探す物語。幻想的な幻覚の描写が読売文学賞の選評において絶賛された。



硯(読売文学賞副賞)



『ハシッシ・ギャング』(原題「薬の細道」)自筆校正ゲラ

関連イベント

小川国夫展講演会

『「逸民」と小川国夫、そして蓮華寺池』

『逸民』の舞台となった蓮華寺池と小川国夫との関係について、小川の三男・小川光生さんが語ります。

日時…5/16(日) 14:00~15:30

場所…文学館講座学習室

受講料…大人300円(中学生以下無料)

講師…小川光生さん(大阪芸術大学文芸学科特任教授・小川国夫三男)

申込…4月20日より、電話・メール・FAXで、郷土博物館・文学館まで



ギャラリートーク

「小川国夫の人間像と作品解説」

小川国夫と交流のあった当館職員が、エピソードや小川語録を交えて、その作品世界を紹介します。

日時…5/8(土)、22(土) 14:00~(1時間程度)

場所…文学館展示室

講師…澤本行央(元藤枝文学舎事務局長)

※申込み不要。入館者対象。



小川国夫展特別グッズ

「小川漫画の缶バッジ」10種類

小川国夫が描いたユーモラスな絵を、藤枝市出身の絵本作家・ふくながじゅんぺいさんがデザインした缶バッジを2年ぶりに復刻します。カラフルな全10種類を用意しました。

場所…博物館エントランスのガチャガチャで販売

価格…1回200円

種類…全10種類



「子どもたちの昭和展」イベント

「街頭紙芝居と子ども縁日」

カンカンと拍子木を鳴らして、紙芝居のおじさんがやってくる。なつかしい紙芝居とクイズ大会を楽しもう!

日時…5/4、5(祝) 11:00、13:00、14:00~(各回30分程度)

場所…博物館前広場

(雨天時は館内ホール)

出演…三ツ沢グッチさん(街頭紙芝居師)

※参加無料

